

平成 25 年 9 月定例会 提出議案の名称と概要

●平成 24 年度決算関係

議案第 47 号 平成 24 年度北栄町一般会計歳入歳出決算の認定について

議案第 48 号 平成 24 年度北栄町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 49 号 平成 24 年度北栄町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 50 号 平成 24 年度北栄町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 51 号 平成 24 年度北栄町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 52 号 平成 24 年度北栄町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 53 号 平成 24 年度北栄町風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 54 号 平成 24 年度北栄町栄財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 55 号 平成 24 年度北栄町合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 56 号 平成 24 年度北栄町大栄歴史文化学習館特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 57 号 平成 24 年度北栄町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第 58 号 平成 24 年度北栄町水道事業会計決算の認定について

議案第 59 号 平成 24 年度北栄町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

報告第 7 号 平成 24 年度決算に基づく健全化判断比率について

報告第 8 号 平成 24 年度決算に基づく資金不足比率について

※ 議案第 47 号～第 59 号及び報告第 7 号、第 8 号は「資料 1」による。

●平成 25 年度予算関係

議案第 63 号 平成 25 年度北栄町一般会計補正予算（第 2 号）

議案第 64 号 平成 25 年度北栄町介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 65 号 平成 25 年度北栄町下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）

議案第 66 号 平成 25 年度北栄町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 67 号 平成 25 年度北栄町風力発電事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 68 号 平成 25 年度北栄町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 69 号 平成 25 年度北栄町大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 70 号 平成 25 年度北栄町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 71 号 平成 25 年度北栄町水道事業会計補正予算（第 1 号）

※ 議案第 63 号～第 71 号は「資料 2」による。

●条例制定関係

議案第 60 号 北栄町子ども・子育て支援会議条例の制定について

子ども・子育て支援法の規定に基づき、北栄町子ども・子育て支援会議を設置し、必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。（施行日 公布の日）

議案第 61 号 北栄町農業のまちづくり条例の制定について

農業を町の基幹産業と位置づけ、環境の保全に配慮した農業の持続的な振興及び発展を図り、農業のまちづくりを推進するため、条例を制定するもの。(施行日 公布の日)

議案第 62 号 北栄町光ファイバーネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

12月に予定されている情報化推進整備事業の完成に伴い、北条地区に加え、大栄地区の新しい伝送路施設が完成することから、条例の内容を全町対象の規定に改正するもの。(施行日 規則で定める日)

平成 2 4 年 度 決 算 の 概 要

1 一般会計

(決算額)

歳入総額	79億 9,831万 1,102円
歳出総額	77億 6,453万 1,626円
歳入歳出差引額	2億 3,377万 9,476円

(歳入・歳出の主なもの)

(歳入)		(歳出)	
地方交付税	37億 2,843万円	民生費	22億 2,176万円
町税	13億 2,485万円	総務費	16億 4,294万円
地方債	6億 4,500万円	公債費	10億 8,786万円
国庫支出金	5億 8,599万円	土木費	7億 9,806万円
県支出金	5億 5,922万円	衛生費	7億 2,798万円
諸収入	3億 9,406万円	教育費	4億 9,011万円

※単位未満切捨て

(健全化判断比率)

実質赤字比率	— %	(普通会計による比率。3.82%の黒字)
連結実質赤字比率	— %	(全会計による比率。5.74%の黒字)
実質公債費比率	18.2 %	(H22～H24の3年平均)
将来負担比率	132.9 %	

(企業会計の資金不足比率)

北栄町水道事業特別会計	— %
北栄町下水道事業特別会計	1.8 %
北栄町農業集落排水事業特別会計	— %
北栄町合併処理浄化槽事業特別会計	— %
北栄町風力発電事業特別会計	— %
北栄町大栄歴史文化学習館特別会計	— %

2 国民健康保険事業特別会計

歳入総額	18億 7,890万 4,558円
歳出総額	18億 7,721万 5,607円
歳入歳出差引額	168万 8,951円

3 介護保険事業特別会計

歳入総額	16億 260万 4,363円
歳出総額	15億 7,337万 1,145円
歳入歳出差引額	2,923万 3,218円

4	住宅新築資金等貸付事業特別会計			
	歳入総額	947万	4,903円	
	歳出総額	3,820万	5,360円	
	歳入歳出差引額	△ 2,873万	457円	
5	下水道事業特別会計			
	歳入総額	11億 9,677万	7,639円	
	歳出総額	12億 507万	1,580円	
	歳入歳出差引額	△ 829万	3,941円	
6	農業集落排水事業特別会計			
	歳入総額	1,719万	3,381円	
	歳出総額	1,719万	3,381円	
	歳入歳出差引額		0円	
7	風力発電事業特別会計			
	歳入総額	3億 2,828万	2,662円	
	歳出総額	3億 1,764万	5,885円	
	歳入歳出差引額	1,063万	6,777円	
8	栄財産区特別会計			
	歳入総額	59万	9,177円	
	歳出総額	16万	194円	
	歳入歳出差引額	43万	8,983円	
9	合併処理浄化槽事業特別会計			
	歳入総額	617万	3,625円	
	歳出総額	617万	3,625円	
	歳入歳出差引額		0円	
10	大栄歴史文化学習館特別会計			
	歳入総額	5,065万	905円	
	歳出総額	4,692万	4,889円	
	歳入歳出差引額	372万	6,016円	
11	後期高齢者医療事業特別会計			
	歳入総額	1億 4,506万	5,233円	
	歳出総額	1億 4,266万	5,833円	
	歳入歳出差引額	239万	9,400円	
12	水道事業会計			
	(収益的収支)			
	収入合計	2億 5,840万	294円	
	支出合計	2億 1,674万	4,734円	
	差引	4,165万	5,560円	
	(資本的収支)			
	収入合計	8,696万	7,260円	
	支出合計	2億 3,650万	677円	
	差引	△ 1億 4,953万	3,417円	

1. 健全化判断比率の状況

(単位:%)

市区町村名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率 (前年度)	将来負担比率 (前年度)	資金不足比率(下水道 事業特別会計) (前年度)
北栄町	該当なし	該当なし	18.2 (20.2)	132.9 (147.4)	1.8 (3.1)

(単位:%)

早期健全化基準	14.83	19.83	25.0	350.0	20.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0		

◎用語の説明

- 早期健全化基準…この基準をいずれかの比率が超えると、財政健全化計画を定め自主的な改善努力により健全化を計ります。
- 財政再生基準…この基準をいずれかの比率が超えると、財政再生計画を定め国の関与により再生を計ります。
- 標準財政規模…地方自治体の一般財源の標準的な大きさを示します。「標準税収入額」+「普通交付税」+「臨時財政対策債」

2. 要因と今後の見通し

実質公債費比率

公債費や公債費に準じた経費を標準財政規模と比較することにより財政の硬直化を示します。これらの経費は削減したり、先送りすることの出来ない最も義務的な経費なので、この比率が高まると財政の弾力化が低下し、他の経費を削減しないと収支が悪化し赤字団体になる可能性が高まります。

○減少の要因

- ・債務負担行為に係る支出の減少
- ・基準財政需要額に算入された公債費の増加

○今後の見通し

平成22年度をピークに元利償還金は減少していることから、実質公債費比率も減少し平成26年度には18%未満になる見込みですが、比率増減の要因となる普通交付税や下水道事業債への繰出などが見込みどおりに推移するかについては十分注意が必要です。また、増加要因として鳥取中部ふさと広域連合主体の大型事業が控えているなど、新たな借金をなるべく抑えるなど引き続き改善の取り組みを進めます。

将来負担比率

地方債の現在高等、将来負担すべき債務を標準財政規模と比較することにより、将来負担の程度を示します。この比率が高い場合は、一般財源の規模に比べて将来負担額が大きくなることになり、今後実質公債費比率が増大することによって、財政運営上問題が生じる可能性が高くなります。

○減少の要因

- ・一般会計、下水道事業特別会計起債残高の減少
- ・土地開発公社負債の減少

○今後の見通し

将来負担の主な要素である一般会計及び下水道事業特別会計の起債残高が今後減少していく予定ですので、それに伴い将来負担比率も減少していく見込みです。

資金不足比率（下水道事業特別会計）

一般会計等の実質赤字にあたるものであり、公営企業における資金不足の状況を示します。この比率が高くなるほど事業規模に比して累積された資金不足が発生しており、経営状況に問題があることとなります。資金不足のうち、将来の料金収入等で解消することが予定されている部分は、資金不足額から差し引いて計算されます。

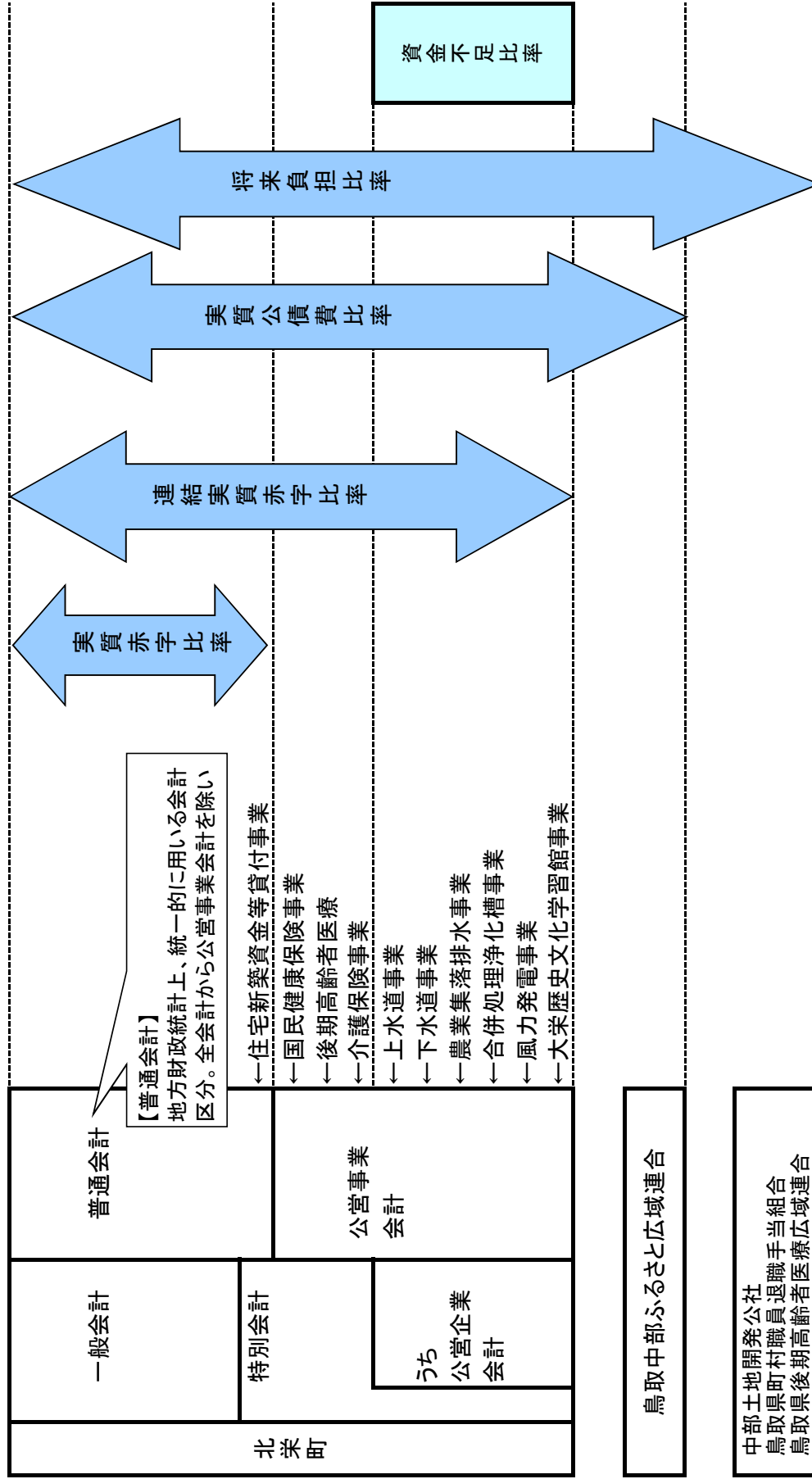
○北栄町の状況

特別会計の実質収支が赤字になっており、資金不足比率が算出されています。起債残高の減少、収益から費用を控除した額が昨年度よりも増加したことにより資金不足解消可能額が増加したため、比率は1.3%減少しています。

○今後の見通し

平成24年度で事業は完了しましたが、起債の償還は今後も続くため、引き続き資金不足の状態が続く見込みです。一方、使用料の改定、起債残高の減少により資金不足解消可能額は増加すると見込まれ、比率を引き下げようとする要因となる見込みです。

◎健全化判断比率の対象について



平成 25 年 9 月定例議会補正予算（案）概要

■ 9 月定例議会提出補正予算

1 一般会計補正予算（第 2 号）

現計予算額 7,570,240 千円 補正額 313,372 千円 補正後の額 7,883,612 千円

(主な歳入)

普通交付税	219,860 千円
国庫支出金・県支出金	△ 39,570 千円
前年度繰越金	220,298 千円

(主な歳出)

財政調整基金積立金	322,790 千円
大栄庁舎・改善センター空調詳細設計委託料	7,350 千円
庁舎太陽光発電設備設置工事	△ 49,875 千円
事務用パソコン購入	13,419 千円
下水道事業特別会計繰出金	4,326 千円
次世代鳥取梨ブランド創出補助	2,098 千円
大雨災害復旧事業費補助	1,129 千円
北条こども園園庭排水工事	6,468 千円

(財政調整基金の状況)

前年度末残高	1,153,820 千円
1号補正後残高	1,067,618 千円
2号取崩額(△)	△ 87,216 千円
2号積立額	322,790 千円
現在高	1,477,624 千円

2 介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

現計予算額 1,599,662 千円 補正額 24,949 千円 補正後の額 1,624,611 千円
 (補正の内容) 繰越金の計上、国庫支出金等返還金の増

3 下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）

現計予算額 1,245,702 千円 補正額 4,855 千円 補正後の額 1,250,557 千円
 (補正の内容) 下水道管移転設計委託料の計上

4 農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）

現計予算額 17,486 千円 補正額 439 千円 補正後の額 17,925 千円
 (補正の内容) 修繕費の増

5 風力発電事業特別会計補正予算（第 1 号）

現計予算額 465,112 千円 補正額 0 千円 補正後の額 465,112 千円
 (補正の内容) 備品購入費の増

6 合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第 1 号）

現計予算額 6,292 千円 補正額 318 千円 補正後の額 6,610 千円
 (補正の内容) 修繕費の増

7 大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第 1 号）

現計予算額 48,881 千円 補正額 3,725 千円 補正後の額 52,606 千円
 (補正の内容) 修繕費、備品購入費の増

8 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

現計予算額 143,857千円 補正額 2,398千円 補正後の額 146,255千円
（補正の内容） 繰越金の計上、負担金の増

9 水道事業会計補正予算（第1号）

収益的支出 現計予算額 238,520千円 補正額 △93千円 補正後の額 238,427千円
（補正の内容） 給与減額に伴う給料の減

資本的支出 現計予算額 262,098千円 補正額 4,247千円 補正後の額 266,345千円
（補正の内容） 測量設計委託の増